

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	稲川 文夫 (SESPP事務局技術顧問)
実施期間	2021年11月22日(月)～11月26日(金)
実施場所 【リモート開催】	ベトナム ハノイ市 ハノイ工業職業短大 (HIVC) 日本国 東京都八王子市 スタジオオルウェイズ
研 修	技能評価トライアル (SET) (ベトナムの国家技能検定として実施)
実施職種	旋盤 2 級 (ベトナムの旋盤レベル 3)

2021年12月

結果概要

1. 対象者数：SET 評価者 3 名 / 受検者 9 名 / 合格者 4 名

2. 日程

日時	実施内容
11 月 22 日 (月) 8:30～16:30	<p>【技能評価トライアル】国家技能検定 準備</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 実習場において旋盤の掃除及び各部の点検、旋盤の状態をチェック (2) 評価者チーム、監督者チームの打ち合わせ (3) バイト、測定器等の準備、点検、マイクロメータ及びシリンダーゲージの 0 点調整 (4) 試験会場設営 (学科試験会場、実技試験会場) (5) 必要な備品等の準備 (ゼッケン、腕章、ホイッスル、ストップウォッチ、クリップボード、時計等) (6) 評価者チームによる実技試験問題の確認
11 月 23 日 (火) 8:30～14:00	<p>【技能評価トライアル】国家技能検定</p> <p><u>9:00</u></p> <p>今回の技能検定旋盤レベル 3 は、10 月に実施する計画で DVET から認可されていたが、コロナ感染拡大の影響で、11 月に延期し、認可手続きを再申請しかし、手違いがあり、DVET から認可書類が届いていなかった為、学科試験の開始時間を 13:00 変更、その旨を旨連絡</p> <p><u>9:00～12:00</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受検者リストに基づいて受検者確認 ・ 学科試験問題、回答用紙を DVET から受け取ったことを監督者チームに報告 ・ 評価者チーム、監督者チームが旋盤のチェック、製品の提出場所をチェック <p>今回使用する旋盤は、No.1、4、5、6、7、8 とすることを決定 (No.8 は予備機とする)</p> <p>12:00 の時点で認可書類は届かず、DVET に進捗状況を確認、書類の到着が、明朝になるとのこと</p> <p>今回の旋盤レベル 3 は、ベトナム国家技能検定として実施される最初の試験であることを確認した</p> <p>受検者に上記を説明し、13:00 に開会式を行うことに決定</p> <p>また、学科試験を明日 7:30 に開始することになった経緯を説明</p> <p><u>13:00 開会式</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Huong 校長 (HIVC) 挨拶、Hung 機械科長 (HIVC) 挨拶 Hoai (HIVC の卒業生で Canon 所属) が受検者代表として挨拶 ・ 評価者チーム、監督者チームの紹介 ・ 試験に関する注意事項説明 ・ 明日のスケジュールを説明

<p>11月24日(水) 7:20-19:30</p>	<p>【技能評価トライアル】国家技能検定 学科試験及び実技試験</p> <p>7:20 受付、注意事項説明、封筒を開封して試験問題を取り出して受検者の机の上に配布</p> <p>7:35-9:35 学科試験(試験時間120分、試験の問題数80問)受検者9人</p> <p>9:35-10:15 採点(QuyetとCuongがダブルチェックで採点)</p> <p>学科試験の結果:</p> <table border="1" data-bbox="450 443 1466 539"> <thead> <tr> <th>受検者</th> <th>No.1</th> <th>No.2</th> <th>No.3</th> <th>No.4</th> <th>No.5</th> <th>No.6</th> <th>No.7</th> <th>No.8</th> <th>No.9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>得点</td> <td>49</td> <td>52</td> <td>51</td> <td>55</td> <td>55</td> <td>52</td> <td>55</td> <td>50</td> <td>69</td> </tr> </tbody> </table> <p>60%以上(48問以上の正解)が合格、全員が実技試験を受験できることになった</p> <p>10:20 一回目実技試験の受付(受検者4人)、ゼッケン取り付け、旋盤抽選</p> <p>10:40-10:55 操作練習、試し削り</p> <p>11:00-14:00 実技試験(標準時間:3時間)</p> <p> -14:30 実技試験(打切り時間:3時間30分) 製品の完成:4人 製品の提出、隠し記号を刻印、製品保管、旋盤掃除、バイト等確認</p> <p>14:50 二回目実技試験の受付(受検者5人)、ゼッケン取り付け、旋盤抽選</p> <p>15:00-15:15 操作練習、試し削り</p> <p>15:20-18:20 実技試験(標準時間:3時間)</p> <p> -18:50 実技試験(打切り時間:3時間30分) 製品の完成:4人 未完成:1人 製品の提出、隠し記号を刻印、製品保管、旋盤掃除、後片づけ</p>	受検者	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	得点	49	52	51	55	55	52	55	50	69
受検者	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9												
得点	49	52	51	55	55	52	55	50	69												
<p>11月25日(木) 8:00-16:30</p>	<p>【技能評価トライアル】国家技能検定 採点作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採点会場の設営 ・製品の配置及び採点用紙の配布 ・採点対象の製品:8個 ・採点項目と手順 <p>①製品の見栄え(傷の有無、仕上げ面の状態、ビビりの有無、指定面取りの状態)</p> <p>②ねじ部の採点(ねじの嵌合、仕上げ面の状態)</p> <p>③テーパの嵌合、④寸法採点、⑤作業態度採点、⑥作業時間採点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験結果: <table border="1" data-bbox="450 1547 1466 1644"> <thead> <tr> <th>受検者</th> <th>No.1</th> <th>No.2</th> <th>No.3</th> <th>No.4</th> <th>No.5</th> <th>No.6</th> <th>No.7</th> <th>No.8</th> <th>No.9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>得点</td> <td>75</td> <td>39</td> <td>65</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>78</td> <td>29</td> <td>失格</td> <td>75</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・合格基準は60点以上、実技試験は4人が合格 学科試験と実技試験の両方に合格した者は4人 	受検者	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	得点	75	39	65	53	52	78	29	失格	75
受検者	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9												
得点	75	39	65	53	52	78	29	失格	75												
<p>11月26日(金) 8:00-16:00</p>	<p>総括会議及び資料のとりまとめ、報告書の作成</p>																				

3. 講評

(1) 評価者について

今回の旋盤レベル3（日本の2級に相当）は、ベトナムの国家技能検定として初めて実施される試験である。評価者は、SESPPで支援した旋盤2級SAT、SETを通して習得した試験の実施方法を、適切に適用していたことに感心した。採点作業では、ダブルチェックのやり方や重要性を理解して実施していたことは高く評価できる。

(2) 実技試験の課題と作業時間について

旋盤レベル3の実技試験課題は、日本の2級の課題をベトナムの実状に合わせて修整し、作成した課題であるとの説明を受けた。

偏心削りを省き、その他の要素作業（テーパの嵌合、ねじ切り、溝加工、部品①と②の嵌合）は日本の2級と同じで、寸法公差を少し大きくした課題となっている。作業時間は、標準時間3時間、打ち切り時間3時間30分で、課題の難易度を考慮すると妥当な作業時間といえる。受検者9人中8人が打ち切り時間内に製品を完成させており、そのうち4人が合格点に達していることは、課題の難易度に対して作業時間が妥当であったことを証明しているといえる。

(3) 試験の合格率について

日本の技能検定2級の合格率は25～35%で、利害関係者から資格としての価値が評価されている。今回の試験結果を見ると、学科試験の合格率は100%で、問題が易しすぎるように思う。試験結果を分析して試験問題の見直しが必要といえる。一方、実技試験は合格率44%で、最初の試験結果としては妥当な範囲であるといえる。合格率が異常に高い資格は、価値がないものと判断されて、利害関係者からの評価も低く、受検者の拡大普及につながらない。

日本の技能検定の合格率は、特級：15～25%、1級：20～30%、2級：25～35%、3級：50～65%程度である。このことによって資格の価値を維持し、利害関係者から評価されている。ベトナムにおいても、評価センターからフィードバックされる情報や試験結果を分析することによって、適切な合格率を維持するために絶えず試験問題を見直す努力を続けてもらいたい。

なお、上記の所見は監督者チーム、評価者チーム、技術サポートスタッフによる総括会議の場で専門家の感想・コメントとして述べたもので、総括会議の議長から日本の専門家による意見としてDVETへ報告することが示され、了承された。

4. アンケート結果

◆評価者3名（回答者3名）

満足度：	大変満足=2人	満足=1人
役立ち度：	大変役立つ=3人	役立つ=0人
評価能力の向上度：	大変向上した=3人	向上した=0人
継続性：	是非継続すべき=3人	継続すべき=0人

【改善点・提案】

- ・ 特になし

意見・感想・実施希望】

- ・ 機械検査
- ・ 普通旋盤1級トライアルをHIVCで実施して欲しい
- ・ 旋盤レベル3（2級）

◆受検者 9名（回答者 9名）

満足度：	大変満足=8人	満足=1人
役立ち度：	大変役立つ=9人	役立つ=0人
継続性：	是非継続すべき=9人	継続すべき=0人

【改善点・提案】

- ・より数多くの検定を実施して欲しい
- ・練習時間を延ばして欲しい
- ・ベトナム技能者の技能を向上させるよう、このような検定を数多く実施して欲しい（2）
- ・より数多く、質が高く、大規模の検定を実施して欲しい
- ・満足している、このままで良い
- ・もっと練習したい

【意見・感想・実施希望】

- ・旋盤（2）
- ・フライス盤（2）
- ・CNC 旋盤（3）
- ・CNC マシンニング、機械加工

◆現地責任者 1名（回答者 1名）

継続性： 是非継続すべき=1人

【改善点・提案】

日本側が、HIVC の評価書の能力・業務を向上させるよう、引き続きを支援して欲しい

【意見・感想・実施希望】

日本側が、HIVC で CAD 製図と機械検査の SAT/SET を実施して欲しい